

令和元年 10 月 29 日
農業担い手支援課

平成 28 年度担い手確保・経営強化支援事業の平成 30 年度達成状況について
(目標年度平成 30 年度)

本事業は、今後の地域農業を担う担い手の育成・確保を図るため、経営体が融資を主体として農業用機械施設等を導入する際に支援するものです。

本事業の実施に当たって、計画主体である市町村は、多様な経営体の育成・確保に関する成果目標（支援を受ける経営体の経営改善に関する目標の積み上げ）を含む計画を作成し、目標年度までの毎年度、成果目標の達成状況について報告を行うこととされています。

このたび、高知県内で当該事業に取り組んだ各計画主体から、平成 30 年度の成果目標の達成状況について報告があり、これら報告内容を点検評価したので、その結果を公表します。

なお、成果目標が未達成となった地区の計画主体に対しては、地区の関係機関が連携して、目標達成に向けて指導することとしています。

経営体育成支援事業（平成 28 年度実施：目標年度平成 30 年度）

市町村名	承認年度	地区数	成果目標 達成地区数	達成地区 の割合	指導を要す る地区数
香南市	H28	1	0	0.0%	1
合計		1	0	0.0%	1

目標未達成理由等の概要

事業名	事業実施年度	目標年度	実施地区数	達成地区数	未達成地区数
担い手確保・経営強化 支援事業	平成 28 年度	平成 30 年度	1 地区	0 地区	1 地区

○地区の成果目標（必須目標）ごとの未達成理由等

成果目標項目 （必須目標）	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置 及び目標達成見込時期等
売上高の拡大	豪雨や台風等天候不順がつづき、全体的に収量があがらなかった。	農地利用最適化推進委員への相談や農地中間管理機構の活用を進めることで経営面積の拡大を進め、また、先進地視察や情報収集等により栽培技術の向上をはかり、今年度中の目標達成に向けて取り組む。

○地区への影響と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地の集積は進んでいるが、集約化も一つの課題であるため、引き続き農地集積率を高めつつ、連坦化を図る。 <p>2 必要となる中心経営体の育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心経営体の中には後継者の確保ができていない経営体もあり、十分ではないが担い手の育成も行われている。しかし、経営体の母数も多くはないため、潜在的な中心経営体の探索や新規就農の促進を図る。 <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、農地の出し手となる者は多くが農家出身であるが、農地を所有している非農家の者も地区内には多くいるため、人・農地プランの座談会等へ参加を促し、新たに農地の出し手となってもらうことで、さらに担い手への集積を図る必要がある。 <p>4 未達成者の対応等その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地利用最適化推進委員への相談や農地中間管理機構の活用を進めることで経営面積の拡大を進める。また、先進地視察や情報収集等により技術面の向上をはかり、目標達成に取り組む。
--